

剣道部・剣友会年表

卒年度	剣友会周年	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主将	大会戦績	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	金日本選手権優勝者	出来事(社会)
S25 (1960)		【関連記事1】 全国組織結成の打ち合わせの場になったのが、日光東照宮である。東照宮は戦前から剣道に力を入れており、昭和四年の武徳殿竣工以来、毎年夏に奉納武道大会を開催してきた。占領期の中断を経て昭和二十六年八月から日光大会として復活させた。そして二十七年八月十八日に全国に呼び掛けて、剣道大会を開催することにしたが、この機会に集まった全国の剣道関係者による懇談会において、全国組織の結成の相談が行われ調整が図られた。				【関連記事2】 戦争中軍国主義の強化に利用されたという、剣道の罪状を一切認め、しかも戦前の関係者の悪かった点に反省の意を表明し、「剣道は心を入れ替えて、新しい行き方をします」ということを明言しなければならなかった。それが剣道は体育スポーツとして出直すというところであった。衝に当たって、折衝された方の苦心が偲ばれる。 (全剣連50年史より抜粋)				
S26 (1961)		こうしてすでにこの年五月に結成されていた東京都剣道連盟と三月に発足した大阪剣道連盟が、京都府、兵庫県と提携して結成された。近畿剣道連盟の両者が打ち合わせの中心となって調整案を作成。全国の剣道に呼び掛けることになった。そして東京都剣道連木村篤太郎会長と近畿剣道連盟大谷一雄会長代理の連名で、十月十三、四の両日、全国各連盟に全剣連結成のための会議の招集を行った。						全日本剣道連盟発足		・日華平和条約調印 ・日印平和条約調印 ・アイシュタイン死亡
S27 (1962)		会議は東京原宿の東鉄職員会館で開かれ、昭和二十七年十月十四日全日本剣道連盟の結成が決議され、こうして戦後の新たな剣道の全国組織が誕生した。初代会長には木村篤太郎氏が就任、副会長は大空雄氏ほか三名、理事長新田宗雄氏、専務理事に庄子宗光氏、理事二名、事務局局長渡辺敬雄氏などが選任された上、全剣連50年史より抜粋)						社会体育としての剣道に対する制限が解除され、高校以上の学校で剣道を体育として実施してよいと通達される。同時に全日本学生剣道連盟が結成される。	第1回	榊原 正 ・イギリス エベレスト初登頂
S28 (1963)		【関連記事3】 試合・審判規則が施行され大会が活発に行われるようになって、つぎの課題は戦前から存在していた称号・段位の扱い、また新たな制度をどのようにするかということであった。審議の結果、戦前の制度を引継ぎ、五段階までの段位の上に練士・教士・範士の称号を置くことにし、昭和二十八年三月に審査規定を施行しスタートした。そして昭和二十九年には全国で八千二百二十九名の初段合格者を出している。				【関連記事5】 昭和三十一年に、全日本東西対抗剣道優勝大会の第十回を記念して、第一回女子剣道優勝大会を、わずか八人参加ではあったが開催した。その後参加剣士も増え、昭和四十六年大会から、全日本女子剣道選手権大会として行われるようになった。第二十六回大会に至って独立して行うことになる。		第十回国民体育大会で剣道が正式種目となる 第一回全日本東西対抗剣道大会が開催される	第2回	小西 雄一郎 ・ビキニ水爆被害事件(第5福竜丸)
S29 (1964)		【関連記事4】 昭和三十二年に至り、大きな制度の変革となる改定を行った。すなわち十段制の導入である。戦前の制度を復活して始められた称号・段位制度であるが、その後先行して占領中から始まって称号を廃止していた柔道の制度にならって、十段制を採用してはとの声が高まった。恐らく(剣道、柔道が並立する。警察部内での処遇不均衡の問題が根源にあったらう、十段制といっても、剣道の場合称号をどう扱うか、大きな問題を投げ掛けたものであった。かなり伯仲した議論を重ねた上、称号・段位並存で十段制を取り入れることになり、昭和三十三年四月から実施するよう審査規則が改められた。				【関連記事6】 全剣連は昭和四十二年十月四日に、日本武道館において、各国を招いて国際親善剣道大会を開催した。ここに集まった十一ヶ国、二団体の代表による協議の結果、国際剣道連盟の結成の方向が決まり、四十五年(一九七〇)日本で第一回世界剣道選手権大会を開催することになった。この機会に国際剣道連盟が結成され初代会長に全剣連木村会長が選出された。 大会には十七団体が参加、東京、大阪で選手権大会を開催、国際普及の良い口火をきった。以後世界大会は三年ごとに、各大陸持ち回りで開催、海外諸国の剣道の普及と技術向上に大きな効果をあげている。				
S30 (1965)		この際、称号は「人格・技量・識見ともに備わり、斯道の普及発展に貢献したものに与え、段位は「剣道に関する総合的实力に応じて与えられるものと記された。そして称号は書類選考とし、段位は七段まで実技審査、八段以上を書類審査によることとなった。						剣道に居合道、杖道、薙刀が含まれる	第4回	浅川 春男 ・ソソ共同宣言調印(ソ連国交回復)
S31 (1966)								学校剣道として中学校高校で正科体育として認められる	第5回	森田 信尊 ・皇太子ご成婚
S32 (1967)								全日本剣道選手権大会の優勝者に天皇杯が下賜される	第6回	鈴木 守治 ・原子力潜水艦ノース号北極潜水横断に成功
S33 (1968)									第7回	中村 太郎 ・ソ連 月の裏側撮影に成功
S34 (1969)								第一回全国教職員剣道大会が開催される	第8回	桑原 哲明 ・総理大臣：池田幸人
S35 (1970)									第9回	伊保 清次 ・ソ連 有人宇宙飛行に成功
S36 (1971)		戦後、剣道部を創設 川原連盟で30名で始動 弘明寺の小学校へ防具を受け取りに行き、連盟の練習 関東甲信越大学体育大会参加、麻理学長決断で防具4組を導入していたが、 神奈川県立五大学剣道に加盟 神奈川県立五大学との対抗戦を開催して勝利	3/10剣友の集い 1回生~18回生まで31名出席	興馬安三	関東甲信越大学体育大会	全敗		5月 全日本学校剣道連盟結成		
S37 (1972)				滝野幸人				剣道が中学校で正科選択必修として実施される	第10回	戸田 忠男 ・三河島駅二重衝突事故
S38 (1973)				福田正夫				剣道が高校で正科選択必修として実施される	第11回	矢野 太郎 ・クネデー暗殺 ・新千四札発行
S39 (1974)				石野正三				第十八回オリンピック東京大会において、新設の日本武道館にて剣道、弓道、相撲がデモンストレーションとして行われた	第12回	戸田 忠男 ・東海道新幹線開通 ・東京オリンピック ・日韓国交回復
S40 (1975)			5年ぶりに剣友が集まる、2回生~20回生、25名参加 剣友会年4回の会合に(会費500円)	濱井 栄				第一回全日本居合道大会が開催される	第13回	西山 泰弘 ・シンザン5冠馬
S41 (1976)	1周年		剣友会発足 横山重一先生部長就任 初代剣友会会長 曾 夏助先生が就任 初代剣友会副会長 矢田四郎先生が就任	田中正康					第14回	千葉 仁 ・ザ・ビートルズ来日
S42 (1977)	2周年	年報6回の大会に参加 (村市大定短期・春季神奈川六大学新人戦・関東甲信越大会・村市大定短期・秋季神奈川六大学対抗戦) また、年報10の会費(5月 横浜市内の道場・夏季 長野方面での会費・秋季 前期試験後の会費・春 鎌倉温泉楽) 早期の準備も含め実施(富士会報昭和42年より)	審判会報に就任した剣友からの連絡を求める投稿記事(天野亮重記)	秋田龍正	春季神奈川六大学新人戦(東海大・神奈川大・防大・関東学院大・横浜国立大・横浜国立大) 二番三番 四位 村市大定短期(横浜市大体育館) 隔大1・7市大	二段の部優勝 三段以上の部 三位	戸田知 藤方正之助	10月4日 国際親善剣道大会開催(日本武道館、【関連記事6】参照) 11月 全日本女子学生剣道選手権大会開催	第15回	堀田 国弘 ・小笠原諸島返還 ・GNP世界2位 ・ミニスカト流行
S43 (1978)	3周年		5/25 剣友会第二回会合(弘明寺体育館) 寄付金で学生に防具を贈呈。	中村薫一	第14回神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	藤方正之助	7月21日 明治100年記念剣道大会開催	第16回	山崎 正平 ・原子力潜水艦エンタープライズ入港
S44 (1979)				北島民雄					第17回	千葉 仁 ・人類初の月面着陸

剣道部・剣友会年表

卒年度	剣友会 年	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主将	大会戦績	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	金日本選手権優勝者	出来事(社会)
S45 (1970)	4周年				神奈川東七大学戦 団体戦第五位			国際剣道連盟設立、第一回世界剣道選手権大会東京大会(団体)大阪大会(個人)が開催される。	第18回 中村 毅	万博
S46 (1971)	5周年	四年生が夏休みまで現役を継続 剣道部の部長増加 女子部員11名に	6/22 弘明寺体育館 剣道部O・B会(毎年5月の土曜日に定例、J・B対現役の試合を実施。 剣友会名簿完成)	藤原成典	神奈川東七大学戦 団体戦第四位 第22回関東甲信越大学体育大会 男子団体準優勝 第22回関東甲信越大学体育大会 女子団体優勝				第19回 川添 哲夫	沖縄返還協定調印
S47 (1972)	6周年		6/10 OB会(弘明寺体育館)	佐伯 博	春季神奈川東七大学戦 男子団体第六位			2月15日 『全剣道広報』創刊	第20回 千葉 仁	総理大臣: 田中角栄 沖縄返還 日中国交回復 念珠オランダ・ウクライナ継承大会
S48 (1973)	7周年	コーチとして片山5段、その後村山7段を迎える。	6/23 OB会(弘明寺体育館)	渋谷英樹	春季神奈川東七大学戦 男子団体第三位			第二回世界剣道選手権大会がアメリカ・ロスアンゼルスで開催される	第21回 山田 博徳	変動相場制導入 第一次オイルショック
S49 (1974)	8周年	神奈川県学生剣道大会が八大大学となり二部制となる。入れ替え戦で神奈川大学と対戦も、敗れBリーグ止まり。		榎本昌己				3月2日 初代会長木村篤太郎辞任。前最高裁判所長菅石田和外選任 10月23日 財団法人全日本学校剣道連盟設立 12月6日 『剣道の理念』、『剣道格闘の心構え』が制定される	第22回 横尾 英治	エネルギー危機、TV放送短縮 ベトナム戦争終結
S50 (1975)	9周年	神奈川県学生剣道大会 防衛大学との入れ替え戦に勝利し、一部リーグ昇格		田島佳夫	神奈川四県対抗	優勝選手	鹿岡健彦		第23回 川添 哲夫	総理大臣: 三木 武夫 沖縄返還
S51 (1976)	10周年		6/8 OB会 神奈川大会の審判(天野先重・鎌方先重2名) OBから部長を寄贈する	南 圭一	神奈川県学生剣道大会	Bリーグ優勝			第24回 右田幸次郎	モントリオールオリンピック ロッキード事件発生
S52 (1977)	11周年	常盤台に経済・経営・教育学部が移転。工学部が弘明寺のため土曜日のみの合同稽古。部員62名。大学剣道関東大会で神奈川東七大学で唯一 全日本学生への出場権を獲得。	6/4 常盤台キャンパスに道場が新設 初めて OB会を開催 剣友会から大旗が寄贈される	浅野 宏	第25回全日本学生剣道選手権大会出場	男子団体	浅原・森田・菊池・横野・広城・松崎・田中・本名重・横口		第25回 小川 功	総理大臣: 福田 赳夫 2000海運法施行
S53 (1978)	12周年	関東甲信越大学体育大会を横浜で開催(剣道は初大会)	6/24 OB会	横野孝一	第27回関東甲信越大学体育大会 女子団体優勝				第26回 石橋 正久	ソウルオリンピック 高田空港開港
S54 (1979)	13周年	部員59名(女子17名)	旧高专剣道大会 日本経典体育館 天野先重出場 6/23 OB会	田中不二夫	神奈川県学生剣道大会 二部優勝 第28回関東甲信越大学体育大会	女子個人準優勝	山下由紀恵	2月9日 国会議員による武道道員連盟結成 4月5-7日 第1回スポーツ少年団剣道交流大会 5月9日 石田和外会長急逝 5月15日	第27回 末野 栄二	総理大臣: 大平 正芳 東京サミット
S55 (1980)	14周年	神奈川県学生剣道大会 幹事校として開催 神奈川県 裾野知事から祝賀が届く 全日本学生剣道選手権大会出場権獲得(1回戦 宇都宮2-3回戦 二回戦 防衛大学3-3(本戦勝ち) 三回戦 東京経済大学1-5回戦)	6/25 OB会 横山金一剣道部長 天野先重への感謝状贈呈。 新組織体制へ 山口幹事長 天野副幹事長 石野・宮部総務 渋谷・広城会計 藤原・種子島・西学生指導 田島審判総務 横口剣友会総務	田中和典	第26回春季神奈川県学生剣道選手権大会 個人優勝 第29回関東甲信越大学体育大会 個人戦準優勝 第26回秋季神奈川県学生剣道大会 男子団体第二位		森 信人 山本悦	12月8日 科学委員会設置決定	第28回 戸山 光利	総理大臣: 鈴木 邦子 日中平和友好条約調印
S56 (1981)	15周年	公式戦には学生服着用		田中和典	第30回関東甲信越大学体育大会	個人優勝	枝迫大成		第29回 中田 瑠士	国家公務員の週休2日制導入
S57 (1982)	16周年	第27回秋季神奈川県学生剣道大会で全敗 2部リーグ落ち		福島圭輔	第15回全日本女子学生剣道選手権大会出場 第27回春季神奈川県学生剣道大会 男子団体第二位 第30回全日本学生剣道選手権大会出場	女子個人 男子団体	出沢尚子 福嶋・枝迫・岡本・寺本・中沢・小沢・津田・重瀬・竹田・藤原		第30回 右田 健一	東北・上越新幹線開通
S58 (1983)	17周年		『横浜国立大学剣友会 会則』を整備し、剣友会名簿を紙裏面に掲載する。	枝迫大成				6月23日 庄子宗光会長に就任。河合隆晴名誉会長へ。 11月4日 次年度から剣道六段の地方審査会を増加することを決定	第31回 東 一良	総理大臣: 中曾根 康弘 東京デズニエランド開園 金融機関第2土曜日休日
S59 (1984)	18周年			小沢潤也				全日本剣道選手権大会の出場資格を六段以上に制限。勝負に判定を取り入れる	第32回 原田 哲夫	アリコ 誘致事件発生 ロスアンゼルスオリンピック
S60 (1985)	19周年		6/29 OB会 OB会から防具置きの箱を寄贈	竹田泰郎	第30回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	小日山 明	日本剣道形審査上の着眼点を決定 4月13,14日 第6回世界剣道選手権大会(リバ)開催 5月25日 全剣連会長に大島功就任 『日本剣道形審査上の着眼点を決定	第33回 石塚 美文	つくば科学万博開催 日航機羽田着陸失敗
S61 (1986)	20周年		6/6 OB会 剣友会創設二十周年 菅会長の20年の功績に感謝状を贈呈。 学生へビデオ一式(大学卒70万・専修・専工卒30万円贈付) 神奈川東七大学剣道連盟 三十周年にあたり大会に際して横山金一剣道部長 天野八郎先輩に感謝状と記念品が贈られた。 石川監督就任	渡辺良樹	第31回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人三位	今井浩		第34回 岩堀 透	チェルノブイリ原発事故
S62 (1987)	21周年			小日山 明				改訂『剣道試合・審判規則』を制定。全剣連広報の月刊化(後の『剣窓』)	第35回 西川 清紀	国鉄民営化
S63 (1988)	22周年	関東甲信越大学体育大会を横浜で開催(剣道は初大会) 横山東出先生逝去	12/9 0時31分 菅副会長長 永藤二代目会長 山口 龍太郎先輩 2代目副会長 大塚武雄先輩	川村良児	第22回全日本女子学生剣道選手権大会出場 第33回秋季神奈川県学生剣道選手権大会	女子個人 女子個人優勝	森嶋仁美 森嶋仁美	5月9日 六段審査より受付。審査を年齢別に2部に分けて行うシステムを採用。 5月28-29日 第7回世界剣道選手権大会(韓国)	第36回 林 朗	総理大臣: 竹下 昭博 ソウルオリンピック
H元 (1989)	23周年		6/17 OB会 大学会館での学生との交流会	大山武郎	第37回全日本学生剣道選手権大会出場	男子個人	山口敬介		第37回 西川 清紀	昭和天皇崩御 平成に元元(1月7日) 消費税導入(3%) 総理大臣: 宇野 重吉 総理大臣: 海部 俊樹 中国天安門事件

剣道部・剣友会年表

卒業年度	剣友会年度	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主将	大会戦績	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	全日本選手権優勝者	出来事(社会)
H2 (1990)	24周年		6/16 OB会 横山金一前部長へ記念品として手廻り古着と袴を贈呈。	山口敬介	第38回全日本学生剣道選手権大会出場 第24回全日本女子学生剣道選手権大会出場	男子団体 女子個人	山口・木村・石野・松瀬・栗本・有竹・袴木・真木・榎原 伊藤純子	2月19日 全日本剣道選手権大会の出場資格を五段以上に緩和 6月29-30日 第8回世界剣道選手権大会(カナダ)	第38回 宮崎 正裕	・ベルリンの壁崩壊、東西ドイツ統一
H3 (1991)	25周年	関東学生剣道連盟の選抜選手として有竹主将が海外選任メンバーとなる	6/16 OB会	有竹 剛	第39回全日本学生剣道選手権大会出場	男子個人	高橋健太郎	1.段位審査規定改訂(八段の2次審査員14名、7.5歳以下の撤廃、形審査実施)、神奈川県代表宮崎正裕主将が全日本剣道選手権大会で大会史上初の2連覇達成	第39回 宮崎 正裕	・豊仙普賢岳噴火 ・湾岸戦争勃発 ・連勝城
H4 (1992)	26周年	公式行事にはプレーザー着用	6/20 OB会 山口健太郎会長 石野幹事が連任 後任として天野八郎会長 秋田幹事が就任	藤木賢二				5月3日 第四十回京都大会を改め、第八十八回全日本剣道演武大会とした 5月17日 六段審査会名古屋で開催 12月23日 『全剣道四十年史(剣道界と全剣連のあゆみ、この10年)』を出版	第40回 石田 利也	・総理大臣・宮沢 ・バレーボールオリンピック ・新幹線のぞみ、山形新幹線開通
H5 (1993)	27周年		6/19 OB会	横尾倫之				6月7日 大島功全剣連会長逝去 6月22日 泰山二郎剣連会長に就任 11月1日 七段以上の高段者名簿初めて発行 11月3日 第41回全日本選手権大会、決勝は宮崎(神奈川)兄弟対決	第41回 宮崎 正裕	・総理大臣・細川 ・リーグ開幕 ・皇太子ご成婚
H6 (1994)	28周年	関東学生剣道連盟の選抜選手として高橋主将が海外選任メンバーとなる		高橋健太郎	第39回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 第43回関東甲信越大学体育連盟大会	団体優勝 個人優勝 女子団体優勝	高橋・秋山・山田・田村・谷田・井上・太田・武田・加藤 高橋・秋山・山田・高砂・井上・菊池・太田・武田・加藤 高橋健太郎	剣道社会体育指導員認定制度が文部省に認可される 4月9-10日 第9回世界選手権大会(バリ) 11月20日 八段審査東京でも実施	第42回 西川 清紀	・総理大臣・羽田 ・総理大臣・村山 ・アジア発の女性宇宙飛行士誕生
H7 (1995)	29周年	剣道部創設以来の全日本学生2回戦連出 関東学生剣道連盟の選抜選手として井上副主将が海外選任メンバーとなる	有竹監督就任 6/9 OB会 31名の卒業生が稽古に参加	高砂 大	第40回秋学神奈川県学生剣道選手権大会 第43回全日本学生剣道選手権大会出場	準優勝 男子団体	菊池一紀 高砂・井上・菊池・太田・牧野・川崎・角・横山・安藤	剣道八段審査の年齢制限の48歳以上に46歳以上に改訂、全日本女子剣道選手権大会の出場資格を1歳以上(年度内年齢)、全日本剣道選手権大会の出場資格を2歳以上にとし、段位制限を撤廃	第43回 石田 利也	・阪神淡路大震災 ・地下鉄サリン事件
H8 (1996)	30周年	神奈川県学生剣道連盟幹事校	6/22 OB会 29名の卒業生が稽古に参加	大田 剛				全日本剣道選手権大会を天皇皇后両陛下でご観戦、優勝者(宮崎正裕)に天皇杯が授けられる(4度目の優勝)	第44回 宮崎 正裕	・総理大臣・橋本龍太郎 ・アトランタオリンピック ・雲雀エイズ訴訟
H9 (1997)	31周年	E-MAILでの日程連絡をはじめ、関東学生剣道連盟の選抜選手として榊山副主将が海外選任メンバーとなる	宮本先遣がNHKドキュメント日本「二〇秒の攻防」に出演！ 6/28 OB会 34名の卒業生が稽古に参加	角 重太郎	第42回春学神奈川県学生剣道選手権大会 第42回春学神奈川県学生剣道選手権大会	個人準優勝 個人三位	角 重太郎 榊山貴史	第千回世界剣道選手権大会が京都で開催される。 第三十六回全日本女子剣道選手権大会の優勝者(大塚真由美)に初の皇后杯が授けられた。 3月27-30日 第10回世界選手権大会(京都)	第45回 宮崎 文裕	・消費税5% ・香港中国へ変換
H10 (1998)	32周年	関東学生剣道連盟の選抜選手として安部主将が海外選任メンバーとなる	(実質的には32年目だが) 6/27 OB会 剣友会創設三十周年、岸根公園県立武道館で稽古会を開催 参加54名、海外選任の安部主将に稽古着・袴を贈呈。 宮本先遣・山口先遣に感謝状を贈呈。 特別剣友会吉川ロベルト先遣が贈呈されるに当たりOB木村監督就任 宮本先遣副主将受称 6/26 OB会	安部博文	第43回秋学神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	安部博文	11月2日 ・全剣連ホームページ発足 ・「竹刀及び剣道具規格、成業を得る	第46回 宮崎 正裕	・総理大臣・小淵恵造 ・長野冬季オリンピック ・山一證券破綻
H11 (1999)	33周年	関東甲信越国立大学剣道大会幹事校		喜納祐介				剣道称号・段位制度改定、剣道称号・段位審査規則および細則・実施要領決定(形審査不合格者の再審査制)、国土館大学にて剣道部員の傷害致死事件発生、剣道部解散	第47回 宮崎 正裕	・金融再編達成
H12 (2000)	34周年	剣道部ホームページ立ち上げ 剣道場修復	6/24 OB会 OB会から川津主将に袴を贈呈	川津大輔	第48回全日本学生剣道選手権大会出場 第45回秋学神奈川県学生剣道選手権大会	男子個人 個人三位	川津大輔 中原貴之		第48回 花井 直輝	・総理大臣・森 ・シドニーオリンピック ・有珠山噴火
H13 (2001)	35周年	春学合宿開始	6/23 OB会	大塚 学	第48回春学神奈川県学生剣道選手権大会	女子団体三位	鍋田・日向・外島	全日本剣道演武大会の出場資格を6段以上称号受有者とする、七段審査を名古屋で実施	第49回 岩佐 英範	・総理大臣・小泉純一郎 ・米国同時多発テロ
H14 (2002)	35周年		6/8 OB会 三十五周年を記念して弘明寺の横浜国立大学付属中学校体育館で開催	佐藤孝定				規則改定で八段一の審査員を6名とし4名の同意で合格、六・七段形審査を別立ての三審査員で実施	第50回 安藤 飛牛	・アフガン戦争 ・サッカーワールドカップ日韓共同開催
H15 (2003)	36周年	神奈川県学生剣道連盟幹事校	6/28 OB会 36周年記念事業として35年記念館を総務スタート、奥島会長 藤生副会長が就任 秋田幹事が連任され、藤原幹事が就任	中原貴之				四段-七段、練士、教士の審査員を6名とし4名の同意で合格とし、剣道称号・段位審査規則改定、「日本剣道形設置」完成、解釈の統一実施	第51回 近本 巧	・イラク戦争勃発 ・SARS流行
H16 (2004)	37周年		6/28 OB会 約1年越しの編集作業を終え熊鷹に記念誌が贈呈された。年余費を頂いている先輩方全体に配布を実施。関係各所にも寄贈書として贈呈。	濱砂宏紀				・初段取得者数が、2年前に年間5万人台を回復。 ・267団体に少年剣道教育奨励賞を贈呈 ・全日本剣道演武大会が明治28年以來第100回を迎える ・全剣連ホームページのリニューアル成る	第52回 鈴木 剛	・新潟中越地震 ・スマトラ沖大地震、大津波 ・アテネオリンピック
H17 (2005)	38周年		香港国際招待試合にて剣友会チームが3位入賞(榊山(H10) 中川(H11) 山田(H11) 大塚(H13)) 6/26 OB会 40周年の記念総会に向けた準備をスタート	榊山和夫	第50回秋学神奈川県学生剣道選手権大会	個人優勝	米倉 文暉	・剣道八段審査に過去最多の1300人を越す、合格者12名、7段審査は2881名と前年度越す。 ・5月団体が岡山県四国目完全優勝。 ・8月31日愛知万博で剣道フェスティバルを開催。 ・東西対抗剣道大会を三十八年ぶりに鹿児島で開催。心技とも充実した試合に終結した。	第53回 原田 慎	・鳥インフルエンザ発生による鳥多量処分 ・建築耐震強度偽装事件発覚 ・クレジットカード偽造事件 ・ネット詐欺巧妙化
H18 (2006)	39周年		6/24 OB会 大塚監督就任 秋田副会長が就任 40周年記念総会親立を開始し、100人以上の規模で総会を開催するべく会場準備をスタート、大学関係者への招待をはじめ稽古会での剣道形演習を企画。	榊原 康一				・平成18年3月31日時点での剣道有段者登録数は、1,429,718人(内、女子は401,121人) ・12月に第13回世界剣道選手権大会が台湾で開催。44か国参加、女子個人、男子個人は、日本が連続優勝、男子団体戦、日本は、準決勝で米國に敗れ5位、韓国初優勝。	第54回 内村 良一	・小泉から安倍首相へ、遣反議員戻る ・イナバウアー荒川静香トリノ五輪で金 ・WBC王ジャパンが世界の頂点に ・姉齒 耐震強度偽装事件

剣道部・剣友会年表

卒業年度	剣友会年度	剣道部の活動	剣友会の活動	歴代主将	大会戦績	種目・成績	選手名	出来事(剣道)	金日本選手権優勝者	出来事(社会)	
H19 (2007)	40周年	女子部員が4名入部し、H9年以後の6名での団体戦参加となる。(春季神奈川) 40周年記念の学生奨励会により部室内に背物庫を設置する。(男女部室)	2007年6月23日 剣友会創立40周年記念総会を開催記念試合:横浜国立大学体育館アリーナ 参加者:約60名 記念総会:横浜中宿衛 ROOSE HOTEL 隣の館(旧ホリデーイン) 参加者:約160名と盛大にとりおこなう。経済学部長 秋山太郎 宣言官副理事長 太田 龍太郎 幹事部長が総会に出席された。功労表彰として感謝状を 横山 一先生 天野 八郎 名誉会長 渡部 光隆 氏に贈呈し、7月に再興された樹城剣友会と全日本学生剣道選手権への出場を決めた来賓に賞が贈呈された。	成瀬 隆太	第53回関東学生剣道選手権大会 第56回全日本学生剣道選手権大会出場	ベスト32 男子個人	米倉 文雄 米倉 文雄 佐藤 祐子		第55回	寺本 将司	・本部から福田首相へ ・原油高騰ガソリン150円/ Liter ・スポーツ界に王子現る(野球・ゴルフ・テニスなど) ・輸入中国食品に多数の農薬混入で輸入禁止騒動
H20 (2008)	41周年	神奈川県学生剣道連盟幹事校 今年度から組織変更され、学生幹事会の上位機関として「卒業生幹事会」を設け、この卒業生幹事会が最高決議権を有することとなった。初代幹事長は有竹先龍が就任	2008年3月21日 山口 備太郎元会長 系 丞 2008年6月14日(土)第34回旧制高専剣道大会 個人戦優勝 横山 一先生 2008年6月28日 OB 総会 OB総会の運営管理にプライベートシールドを導入。(個人情報保護法対応として) 剣友会組織の拡大に伴い体系的な大綱改定に着手。従来活動を継続的に規定化する目的。2008年総会で提案予定 規定改定に関連し、一部組織整備を実施。会計監査役導入を決定。会計幹事と監査役幹事の分離が目的。	米倉 文雄	第53回 春季神奈川県学生剣道選手権大会	個人準優勝	川村 友希		第56回	正代 賢司	・教育改革の一環として中学校の体育科目に武道必修として行われる方針が決定した。 ・全日本実業団剣道大会で三井住友海上が優勝
H21 (2009)	42周年	体育館の耐震補強工事により、4月から9月まで増床が使用できない状況と成る。保土ヶ谷中学や神奈川区スポーツセンターで練習場所を確保するという管理。 関東甲信越体育大会で 剣道大会が横浜で開催。	2009年6月27日 OB総会を開催 大学体育館が耐震工事に伴い使用できない為、慶應幹事校の取掛りで新杉田にあるIH(石川島播磨重工業)横浜事業所内にある体育館でOB總會を実施。 高生部会員が60周年の在籍期間を満了して再選され、支部幹事が副会長に就任した。 剣友会の規約を大綱に改定し、改定前の7条立てから20条および77項の付則から成る内容へ再編成。改定の主旨は、組織体制の確立、連合/幹事会の議決権明確化、その他会員の使用目的や各種奨励金額の全額を明確化。	南村 智洋					第57回	内村 良一	・平成21年3月31日時点での剣道有段者登録者数が公表され、1,546,503人(内女子は436,588人)。 ・全日本実業団剣道大会でJR東日本リテールネットが優勝
H22 (2010)	43周年	H22第55回 秋季神奈川県学生剣道選手権大会 個人準優勝 二宮健太郎 個人準優勝 川村友希 男子団体戦 第三位 女子団体戦 第三位 全部門での入賞は歴代史上初。	2010年6月26日 OB総会を開催 大学の耐震補強工事が先般より前年どおりの大学開催となった 12月3日 第21回関東学生剣道大会(先鋒)米倉先龍(次鋒)佐藤(男)先龍(五将)杉野先龍(中堅)横山先龍(三将)有竹先龍(副将)小沢先龍(大将)暢野先龍	茂藤 康隆	第55回 秋季神奈川県学生剣道選手権大会 第56回 秋季神奈川県学生剣道選手権大会	個人準優勝 個人準優勝	二宮健太郎 川村 友希		第58回	高鍋 進	・4月29日第58回全日本都道府県対抗剣道優勝大会で東京が優勝。 9月20日第53回全日本実業団剣道大会でパナソニック電工本社が優勝
H23 (2011)	44周年	H23年新体制 主将 安達 界(主将)長谷川 隼(副主将) 森田 龍(主将) 丸尾 信康(副将) 川村 友希(女子主将) H23年66回春季神奈川県学生剣道選手権大会 女子団体第三位 9月17日(土)第37回関東学生学生剣道優勝大会(於:東京武進館)にて女子団体が創部史上初の全日本女子学生剣道優勝大会への出場を決めました。 (1回戦:群馬大学 2回戦:武蔵野大学 3回戦:關天宮大学 4回戦:關東武進大学(優勝チーム)) 全日本女子優勝大会では、1回戦京産大学と対戦し惜敗	2011年4月3日 昭和17 高専 天野 八郎(名誉会長)逝去。(享年99歳) 横浜市北部高専移り行なわれた幹連に多数の卒業生が参加し、各別室には学生が参加。 2011年6月25日 OB 總會を開催。美馬会長が再選。2003年から8年間にわたり剣友会の指導を頂いた。宮部会長が就任し、翌年の45周年に向けた新体制で、各職に幹事を2名兼任される。平成9年卒業生 清水 清次(1回戦:群馬大学 2回戦:武蔵野大学 3回戦:關天宮大学 4回戦:關東武進大学(優勝チーム)) 2011年10月 全日本女子学生剣道優勝大会出場支援のため寄付事業を実施。遠征の交通費・宿泊費を支援。	安達 界	第37回関東女子学生剣道優勝大会 第30回全日本女子学生剣道優勝大会	女子団体ベスト16 女子団体	4年川村 3年小笠原 2年倉田、原、村松 1年小泉 4年川村 3年小笠原 2年倉田、原、村松 1年小泉		第59回	高鍋 進	平成23年 高鍋進 鎌士六段 神奈川県 神奈川県 35才が1999年の宮崎正治に続いて歴代2人の日本選手権連覇
H24 (2012)	45周年	< 関東甲信越体育大会 > 9月25・26日両日 群馬県前橋市 くま武進館で開催され、男子団体が準優勝しました。 12月23日 45周年記念総会を開催。開催場所は 慶應義塾 別府南 学生・卒業生合計で100名が参加。 大塚監督 46周年記念総会を開催。開催場所は 横浜カピタル大 学生・卒業生合計で68名が参加。 2013年11月27日剣道八段審査において陣川ロベルト先(平成4年(大学院)生理工学)が8段に合格をされました。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。	2012年3月9日～10日宮部会長・秋田副会長・夏原幹事長が昨年の夏合会に引き続き国大会合に参加。 6月1日 OB幹事会メンバーで合会を実施。(山中 浩八チーフ)。 6月23日 45周年記念総会を開催。開催場所は 慶應義塾 別府南 学生・卒業生合計で100名が参加。 秋田副会長が再選(在任8年)(H4年幹事長 H18年副会長) 夏原幹事長と南幹事が副会長に兼任された。 昭和46(大学)の平田 知 先龍を特別剣友として迎え。(幹事会承認後総会で紹介)	二宮 健太郎	第61回関東甲信越体育大会	団体準優勝	二宮・渡邊・西本・山城・毛綱・尾岡・堀尾・橋守・藤野		第60回	木和田大起	・全日本剣道選手権大会で、大阪府警六段木和田利次が優勝 第62回日本スポーツ賞にて木和田大起選手が2012年競技団体別最優秀賞を受賞 ・全日本実業団剣道大会にてパナソニック(ES本社)が優勝
H25 (2013)	46周年	元書道部 横山哲弘先生(教士八段)に夏合会でご指導を頂く。 関東学生剣道優勝大会で、2度の全日本学生へ入賞が、惜敗(一回戦 3-0、二回戦 対神奈川大学 2-1) 2013年11月27日剣道八段審査において陣川ロベルト先(平成4年(大学院)生理工学)が8段に合格をされました。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。	5月25・26日 OB幹事会メンバーで第2回合会を実施。(山中 浩八チーフ) 参加者は宮部会長・夏原副会長・南副会長・暢野幹事・岩城幹事・石川幹事長・小沢幹事・横山幹事・中川幹事・大塚監督 6月23日 46周年記念総会を開催。開催場所は 横浜カピタル大 学生・卒業生合計で68名が参加。 2013年11月27日剣道八段審査において陣川ロベルト先(平成4年(大学院)生理工学)が8段に合格をされました。横浜国立大学卒業生で初の八段合格となります。	吉岡 剣人	第58回 秋季神奈川県学生剣道選手権大会	男子個人 第三位	清水 裕		第61回	内村 良一	2013年の第61回全日本剣道選手権大会は、内村良一選手の優勝となりました。 ・第54回、第57回、第61回と3度目の優勝となりました。 ・国際剣道の国際競技団体連合への加盟 ・全日本東西対抗剣道大会のような大大会は試合は10分としました。(平成17年)、全日本剣道選手権大会も帯々決勝戦以後は、これに倣いました。また東西対抗大会は引き分けをなくし、勝負が(まて)行うこととなった
H26 (2014)	47周年		8月21日 47周年記念総会を開催。開催場所は横浜カピタル大	山城 裕範				第62回			
H27 (2015)	48周年							第63回			
H27 (2016)	49周年							第64回			
H28 (2017)	50周年		50周年記念総会					第65回			
H29 (2018)	51周年							第66回			